

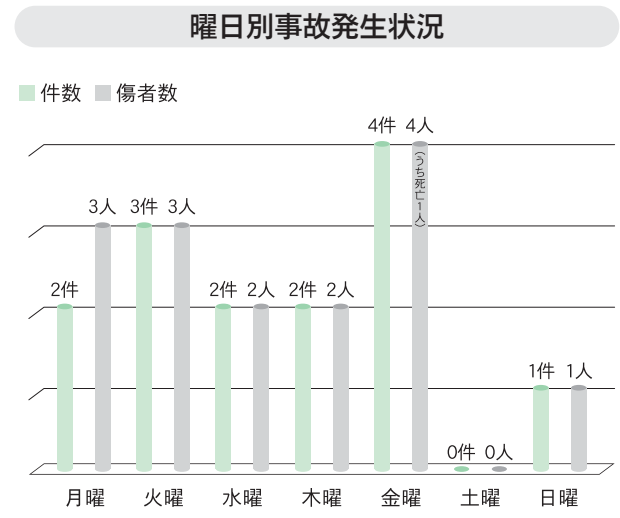
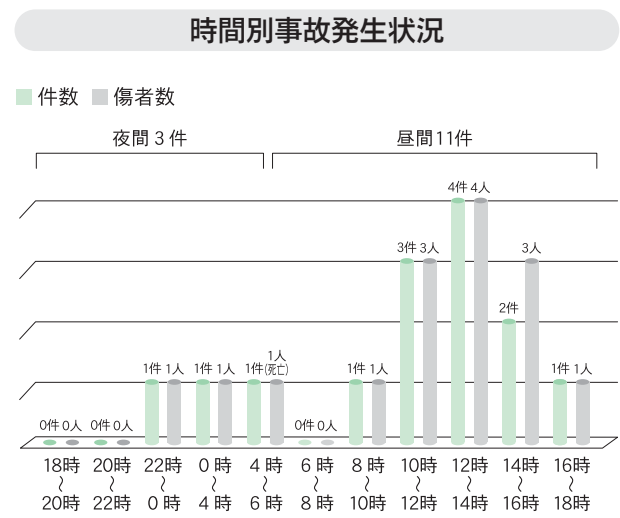
交通事故をなくすには、何よりも
町民一人ひとりの交通安全意識を高め
る事が大切です。
交通ルールの遵守とマナーを身に
つけましょう!!



特集Ⅱ 平成26年中に発生した 長万部町の 交通事故を分析



道 路 別	事 故 類 型 別	法 令 違 反 別	通 行 目 的 別
■ 国道 ・ 5 号 [6 件・7 人] ・ 37 号 [1 件・1 人] ・ 230 号 [1 件・1 人] ■ 高速道路 [4 件・4 人] (うち死亡 1 人) ■ 町 道 [2 件・2 人]	■ 人対車両 [1 件・1 人] ■ 自転車対車両 [2 件・2 人] ■ 車両単独 [2 件・2 人] (うち死亡 1 人) ■ 車両相互 追 突 [6 件・6 人] 正面衝突 [3 件・4 人]	■ 安全運転義務違反 前方不注意 [11 件・12 人] (うち死亡 1 人) 動静不注意 [1 件・1 人] ブレーキ操作 [1 件・1 人] ■ 交差点安全通行 [1 件・1 人]	■ 業 務 [4 件・5 人] ■ レジャー [3 件・3 人] ■ 訪問・送迎 [5 件・5 人] ■ その他私用 [2 件・1 人] (うち死亡 1 人) ※ [発生件数・死傷者数]



ゆとりを持った
安全運転で

時間別の発生状況では、14件中11件の事故が昼間に発生しています。特に12時から14時までの2時間が最も多い4件となっています。

曜日別では、14件中93%にあたる13件が平日に発生し、その中でも金曜日が最も多く死亡事故も発生しています。通行目的別では、14件中10件の事故がレジャーや訪問・送迎などの私用中に発生しています。

疲れたときは
こまめな休憩を

長時間の運転は、疲れが蓄積されやすく、その結果、漫然運転や最悪の場合は居眠り運転につながります。

車の運転は、夢中になりすぎることがあり、つい休憩を取り忘れてしまいます。また、集中しているため、なかなか疲れを感じにくいものです。

高齢者の事故が
増えています

全国的に高齢者が巻き込まれる事故が増えています。

高齢ドライバーへの思いやりを持った運転や、高齢歩行者を見かけたら減速するなど、高齢者の動きに対応できるようなやさしい運転を心がけましょう。

ストップ・ザ・
交通安全
めぐせ 安全で
安心な北海道

運転者は、車を運転する中で起こりうる状況を予測しながら、危険を回避するように求められています。

しかし、交通事故の多くは、運転者のほんのわずかな不注意によって発生し、予期せぬ悲劇を生んでいます。そして、被害者になっても加害者なっても、一瞬のうちに幸せな家庭を崩壊させてしまうのが交通事故です。

全国の交通事故による死者数は、14年連続で減少していますが、交通事故死ゼロにはほど遠く、列島のどこかでほぼ2時間に1人が交通事故で亡くなっています。これだけ多くの交通事故が起きているにもかかわらず、自分自身の問題と考えるにくいのが「交通事故」で、「事故との遭遇」は決して他人事ではありません。ある日突然、あなた自身にふりかかってくるかもしれない怖い出来事なのです。

今月号では、交通事故撲滅の願いを込めて、昨年1年間に私たちの町で発生した交通事故を分析してみました。

1人が死亡
14人が重軽傷

長万部町内では、毎月のように交通事故が発生していますが、そのほとんどが通過車両によるもので、昨年1年間に発生した交通事故は14件、傷者数は14人で、一昨年に比べ件数が5件、傷者数で1人の増加となりました。また、3年連続で死亡事故が発生し、町外の方1人が高速道路で犠牲となりました。

北海道内の交通事故死者数は、昨年と比べて15人少ない169人で、170人を下回るのは昭和24年の157人以来、65年ぶりという低い水準でした。

交通事故の多くは
国道と高速道路で

道路別の発生状況では、国道で8件発生し、次いで高速道路が4件、町道で2件発生しています。

比較の見通しの良い道路であることが、スピードの出し過ぎや無理な追い越しなどの事故原因になっていると思われるが、事故を起こしやすい場所としては、信号機の無い交差点や、見通しの悪いカーブなどが一般的に多く、身近なところにも起きやすい場所があるので、見通しの悪いところでは、必ず一旦停止・徐行運転を心がけましょう。

前方不注意が
事故の原因に

事故類型別の発生状況を見ると、14件中9件が追突・正面衝突による車両相互の事故でした。

法令違反別では、14件中93%にあたる13件の事故が、安全運転義務違反が原因となつて発生しており、特に前方不注意が11件と多くなっています。

便利な自動車も安全運転を怠ると、恐ろしい凶器になつてしまいます。車を運転するときは、十分な車間距離を取り、適度な緊張感をもって運転しましょう。

